

秘

百七十一

臺灣總督府

報告

九月廿一日ヨリ
三十一日ニ至ル

大本營

陸軍參謀部中

臺灣總督府參謀

九月廿一日○澎湖島要塞砲兵隊より將校二下士卒七十名より南進軍に属ス其目的は敵の砲臺ヲ略取スルニあり
 火砲及諸材料ノ手入並ニ整理ヲ為シタルニ在リ
 澎湖島守備要塞砲兵隊の所管島公港に到着セリ
 九月廿一日○南進軍司令官ハ運動開始ノ為メニ命令ヲ下セリ其要領左ノ如シ

- 一 軍ハ在南ヲ攻撃シ目票トスル
 - 二 混成第百旅團ハ布袋嘴附近ニ待テ目的ヲ以テ
- 十月二日ヨリ基隆港ニ於テ乗艦左ノ如シ
 澎湖

0503

島之集居スハキヤ

三第二師軍ノ主力ハ枋寮附近ニ上陸ノ目的ヲ以テ

十月八日エテ澎湖島ニ集居スハキヤ

四近衛師軍ハ九月廿九日以後ニ於テ前進運動ヲ

始メ十月八日エテ嘉義ニ到着ニ在リ十月エテ

一部隊ヲ下茄冬附近ニ進メ以テ混成第四旅軍

ノ上陸ノ容易ナラシムルヤ

又輕便鐵道班ヲ兵站並ニ指揮ニ屬シ布袋嘴附

近ニ上陸セシムルハキヤ及獨立野戰電信隊中隊ハ混

成第四旅團ト共ニ澎湖島ニ集居スハキヤ在テ下

ヤ

九月廿三日○近衛師軍ヲ敵情ニ関シテ報告ス

劉永福ハ既ニ具家族ヲ中國ニ還シ自身ヲ亦道

ケ仕度ヲナシ居ルヨシ敵ハ台南安平等ニ二十餘
董(老方人)アリ過キヌト云フ

此頃福建より銀千石万兩ヲ送り来レリ 旗後ニ鎮
海獅砲台ニあり 劉ハ多分此地より逃ルニナラントノ
説アリ云々

左ノ報ニ接シ南道軍目長官ハ直ニ船取ヨリ長官
ニ之ヲ報シ嚴密ニ海上ヲ監視セコトヲ要求セリ
當時在港鐵道係利ノ者ス

九月廿四日○橋梁修列ノ材料及ヒ人員ヲ兵站監ノ指揮ニ屬ス
大甲以南ノ出水ノ為ノ兵站線路ノ交通殆ト断絶シ
アリシカ本島より回ニ復シヨリ

各地志者ノ概數ハ左ノ如クナリシ

彰化

四百七十七名

星北
基隆
新竹

多二百二十四名
千四百六十五名
約 四百名

計二千六百六十九名

運送船全別丸一暴風ノ為ノ基隆港口ノ沙濱
ニ吹付ラシ困ニ堪ヘザルニ至リ

淡水橋ノ修繕落成ニ本日ヨリ汽車ヲ通ス

山根少将熱病ニ罹ル熱度四度一分ヲ報アリ

九月廿五日廿六日廿七日○廿七日近衛師長ヨリ報アリ
九ノ如シ

廿五日未ノ雨ヲ北平附近ノ河川出水ニ師長出張
日限モ定メ難シ又後方河川モ在シテ交通絶ハ
特種運搬ハ目下中止中ナリ云々

九月十日分の歩兵第五聯隊第一大隊、海山口にて宿
營シアリシカ隊中ニ悪疫發生セシコトヨリ板橋塘ニ
轉營ス

先日未ノ暴風ノ為ニ運送船彦山、朝顔、酒田及
い土佐ノ澎湖島ニ避ケシト、松山ニ錨ヲ取テ爲メニ
錨買入ノ為ニ香港ニ向テリ

九月廿九日〇左ノ敵情ニ接ス

嘉加義、多里、露務附近ニ、約六千ノ敵兵アリト

又厦門ヨリ左ノ報アリ

今朝アスラ号ヲテ湖南ノ解隊兵三百人士官一人
安平ヨリ来シリ聞ク所ニヨシハ劉永福、之ヲ推シテ
入レガリト

他ノ報ニヨシハ左ノ士官トハ知縣名ヲ(手ウサイ)ト云ヒ

3

0507

四百餘名ノ率ト居シリト
九月廿日〇今一旬間ハ概シテ降雨連續シ時々暴風ヲ
来シタルカ故ニ電信屬々不通トナリ兵站線ノ
運搬交通ヲ妨ケラレタルト少カラズ然レモ南進
軍ハ專ラ運動ノ計畫準備中ニ存リシヲ以テ大
ナル妨害ヲ被ラザリシ
目下熱度ハ大ニ減シ朝夕七十度内外ニ至ル

0508